



たづがね

(鵜が音)

No. 3

5月11日発行

「笑顔いっぱい」「元気いっぱい」「夢いっぱい」の西北台っ子

緑の中に見える藤の花が、美しい季節となりました。1年生もすっかり学校に慣れてきた様子が伝わってきます。学校で頑張っていることを家の人にも話しているということを耳にしたり、マスクを外した生活によって児童の豊かな表情を目にしたりするだけでとても嬉しくなります。話をお互いに聞くだけでなく、人の表情を見ることによって相手を思いやる気持ちが育っていきます。家でゆったりと対話することが難しい時があると思いますが、できるだけ大人も表情豊かに話を聞いて児童の心の成長を助けていく必要がありますね。

連休中に大きな地震が発生しました。学校では、改めて慌てずに頭を守ることや学校の運動場のように周りに倒れてくるものがない場所に避難することの大切さを指導しました。ご家庭でも避難の仕方についてお話しください。



2日(火)は、5町を巡る縦割り班による春の遠足でした。6年生のリーダーとしての活躍がこちらで見られた1日でした。

滝谷のビュースポットから、五重の塔が見えます。この場所に初めて来た児童にとっては400年前から変わらない景色ということを含め、新鮮な発見だったようです。

滝港マリーナでは、海の雄大さを体感していました。



「折口博士 歌碑」でも、6年生がリーダーとして、地域の良さを下級生に伝えている姿がありました。



「西北台小校区再発見」を今後も続けていきたいと思っています。



☆5月10日(水) 5年生が柴垣の松田さんの田んぼで田植えを実施

J Aの方をはじめ柴垣の松田さん、濱田さんに大変お世話になりました。ありがとうございます。

☆5月12日(金) 引き渡し訓練を実施予定

引き渡し訓練の際には、交通の面・時間的な面を含めて、ご協力をお願いします。